

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

| | |
|--------------|---|
| 研究課題名 | てんかん手術例におけるイオマゼニール SPECT の代謝分布と予後の関係 |
| 研究責任者 | 聖隷浜松病院 小児神経科 岡西徹 |
| 研究実施体制 | 聖隷浜松病院のみ |
| 研究期間 | 2018年 2月 から 2021年 1月 |
| 対象者 | 2013年1月から2018年1月までの間に聖隷浜松病院てんかんセンターにててんかん外科の可能性を考えてイオマゼニール SPECT を記録した症例。 |
| 研究の意義・目的 | 難治てんかん患者の手術前イオマゼニールSPECTの分布が手術予後を予測しうると仮説する。これが正しければ術前に手術適応の検討に応用することができる。 |
| 研究の方法 | 後方視的に電子カルテと放射線部保存の SPECT データより情報を収集する。イオマゼニール SPECT データ、年齢、病歴、てんかん分類、過去の薬剤使用、てんかん発作型分類、発作予後など |
| 個人情報の取扱い | 本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 個人情報開示に係る手続き | 個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。 |
| 資料の閲覧について | ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 問い合わせ窓口 | 聖隷浜松病院 小児神経科 (氏名) 岡西 徹 TEL:053-474-2222(代表) 小児神経科外来 9:00~17:00 平日 |